いのちに、おはよう。タイカです。

Taica

アルファプラ ビオ				カバー抗菌加工済み※1
型番	❶ MB-BF3R	❷ MB-BF3S	❸ MB-BF1R	❹ MB-BF1S
サイズ [cm]	幅83×長191×厚13	幅83×長180×厚13	幅91×長191×厚13	幅91×長180×厚13
質量 [kg]	8.2	7.9	8.5	8.3
TAISコード	00563-000087	00563-000088	00563-000089	00563-000090

アルファプラ ビオ　背上げセンサー付き				カバー抗菌加工済み※1
型番	❶ MB-BF3R-HG	❷ MB-BF3S-HG	❸ MB-BF1R-HG	❹ MB-BF1S-HG
サイズ [cm]	幅83×長191×厚13	幅83×長180×厚13	幅91×長191×厚13	幅91×長180×厚13
質量 [kg]	8.3	8.0	8.6	8.4
TAISコード	00563-000083	00563-000084	00563-000085	00563-000086

設 置 方 法：リプレイスメント
材質（中　身）：［マットレス部］ポリウレタンフォーム　［エアセル部］ポリウレタンフィルム
材質（カバー）：［上面］表地：ポリウレタン　裏地 ：ポリエステル　［下面］ポリエステル

防水フィルムカバー　汚れにくく清拭しやすいウレタンフィルムカバーです。

○サイズ、質量は目安の数値です。
※1 制菌加工：特定菌種の黄色ブドウ球菌、肺炎桿菌、MRSA等に効果的です。

お問い合わせ先



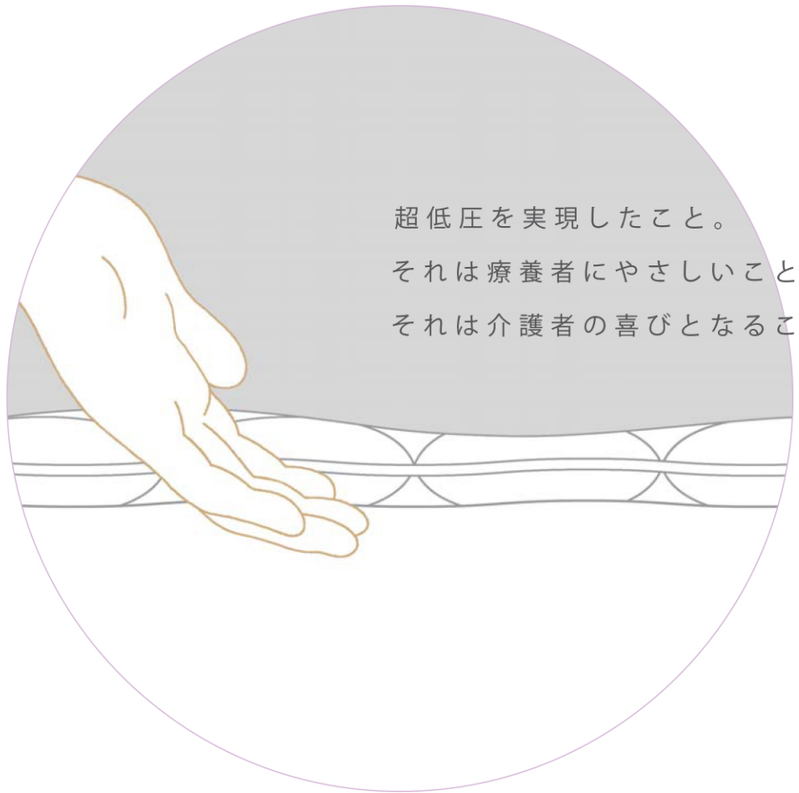
株式会社タイカ
ウエルネス事業本部　〒125-0054 東京都葛飾区高砂5-39-4
Tel.03-5648-6630　Fax.03-5648-6640

16.04.20000

いのちに、おはよう。タイカです。

Taica

指一本分のやさしさ。



超低圧を実現したこと。
それは療養者にやさしいこと。
それは介護者の喜びとなること。

日本人高齢者の身体の特徴を考えて生まれた
床ずれ防止マットレス、誕生。

アルファプラ ビオ

αPLA® bio



介護保険
給付対象商品
床ずれ
防止用具

日本人高齢者の身体の特徴から、床ずれ防止機能をとことん追究しました。

床ずれ防止マットレス

介護保険
給付対象商品
床ずれ
防止用具



静止型ハイブリッドマットレス

アルファプラ ビオ

αPLA® bio

防水フィルムカバータイプ

対象者の目安

- ●皮膚のたるみと乾燥がある方
- ●痩せている方
- ●寝たきりの方
- ●四肢に麻痺のある方
- ●身体の痛みを緩和し、安楽な生活を目指す方
- ●エアマットレスの寝心地や音が気になる方

OHスケール

アルファプラ ビオ　7〜10点

※関節拘縮のある方は
ポジショニングクッション ウェルピーを
併用しましょう。

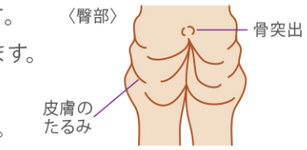
床ずれ防止に大切なのは、「超低圧」と「安静」です。

床ずれ防止マットレスには、圧切替型エアマットレスがあります。
でも、療養者の身体には、エアセルが膨縮する際のずれ力でさえ負担となります。
私たちは、日本人高齢者の身体の特徴に着目し、療養者ができる限り安静に過ごせるよう、
あえて切替型ではないマットレスを開発しました。
「アルファプラ ビオ」は、安静に常に超低圧を保つことができる静止型マットレスです。

ポイント その1

日本人高齢者の特徴は、外力の影響を受けやすいことです。

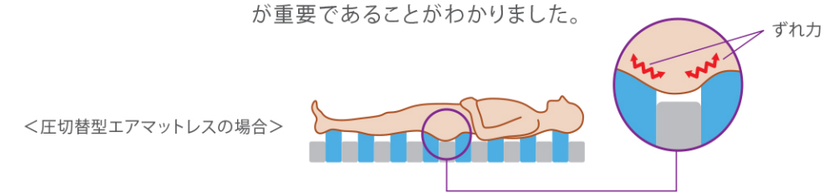
高齢者の身体の顕著な特徴は、皮膚が非常に脆弱なことです。
加齢により皮膚は乾燥して弾力性、張力が低下し、たるんできます。
たるんだ弱い皮膚に加えて日本人の高齢者には、
痩せ、骨突出などの特徴があり、さらに外力の影響を受けやすくなります。



ポイント その2

日本人高齢者には、安静な環境が必要です。

外力の影響を受けやすいという日本人高齢者に、できる限り安静に過ごしていただくためには、
①ずれ力を極力なくすこと
②体位が変わっても常に低圧で保持されること
が重要であることがわかりました。



そこで

タイカはエアセルの膨縮によって発生するわずかなずれ力をも排除するために、
エア量を極限まで減らし、体位が変化しても低圧な状態を保持する
静止型ハイブリッドマットレスを開発しました。

〈超低圧〉で身体を外力から守る

＋

〈体重フィードバックシステム〉が
常に最適な体圧分散に制御

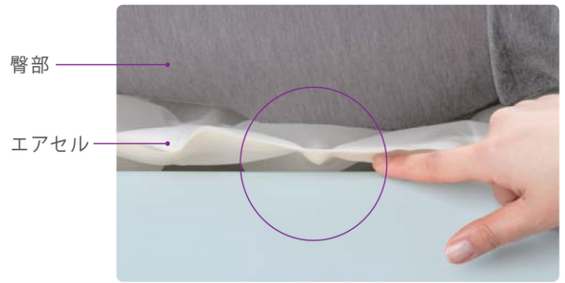
▼

静止型ハイブリッドマットレス「アルファプラ ビオ」誕生

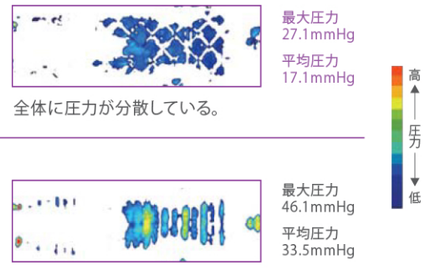
「超低圧」「体重フィードバックシステム」で実現。
日本人高齢者の床ずれ防止に適した、静止型ハイブリッドマットレス、誕生。

超低圧

「アルファプラ ビオ」は、エアセル＋ウレタンフォームの二層構造。上層のエアセルは、ウレタンフォームに底付きしないギリギリまでエア量を減らし、ウレタンフォームと身体の間に指が１本入るだけの厚みで、常に超低圧をキープします。そのため、皮膚にかかる外力を極力軽減することができま



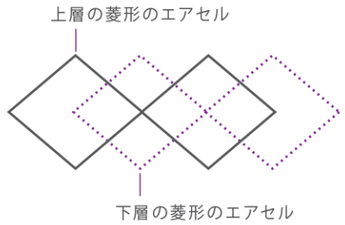
●体圧分散性能の比較　被験者：170cm 65kg 男性（当社測定）





エアセル

横に長い菱形状のエアセルを、上下で50%ずらして配置した二層構造です。これにより突出した骨がくぼみにはまることがなく、ずれ力も効果的に軽減します。



快適な環境を提供します

エアの移動が少ないエアセルと、ウレタンフォームの二層構造なので安定性が高く、療養者の生活に必要な環境を提供します。

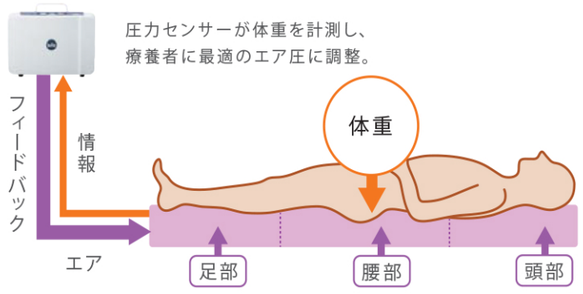
●介助やポジショニングがしやすい。



●ポンプの駆動回数が少ないので睡眠の邪魔をしない。
●浮遊感がなく快適な寝心地。
●床上の動作がしやすい。

体重フィードバックシステム

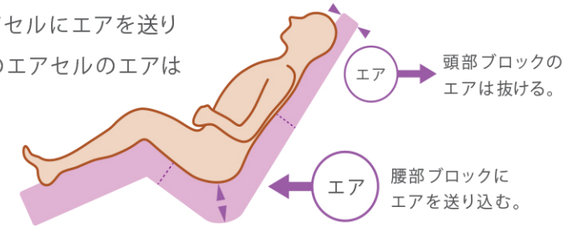
療養者が「アルファプラ ビオ」の上に寝るだけで、体重を自動で計測し、その方に適した体圧分散をします。さらにエアセルは、頭部、腰部、足部の3つのブロックに分かれていて、個別に圧力を調整します。センサーが圧力の変化を見守っているので、療養者の身体をいつでも最適な状態に保ちます。



エア圧は頭部、腰部、足部の3ブロックで個別に管理。
かかとの床ずれにも対応します。

背上げセンサー搭載　（MB-BF-HGのみに付属）

ベッドの背上げ動作を感知し、腰部のエアセルにエアを送り込むので底付きしません。同時に、頭部のエアセルのエアは抜けていくので、圧迫感がなく心地よく背上げができます。



シンプルなパネル表示で、
だれでもカンタンに操作できます。

ボタンで簡単スタート、様々な姿勢に対応します

●操作パネル



1 電源 入/切

「1」を押すと、
空気が
送り込まれます。



2 準備中 寝る

「2」の「寝る」ランプが
点灯したら、
療養者を
寝かせます。



3 体圧分散スタート

「3」を押すと、
体重が自動で計測され
体圧分散が
スタート
します。



メモリ機能付きなので、一度体重が記憶されれば、
次回からは寝るだけで体圧分散が自動で行われます。

●様々な姿勢にも
ワンタッチで対応

● ひざ拘縮



● 横向き 側臥位



○ 背上げ



※MB-BF-HGはボタンを押す必要はありません。

扱いやすく安全性の高いポンプを使用

●停電しても1週間ほどはエア抜けしません。
（手動でもエアを充填できます。）
●フィルター交換不要。
●重さはわずか2kg。軽く、取っ手付きなので持ち運びもラクです。



清潔と安心を守るカバー

●制菌加工（SEK赤ラベル相当）を施しているので、感染症対策に有効です。
●防水加工で、汚れにくく清拭しやすいウレタンフィルムカバーです。
●万一着火しても燃え広がりにくい難燃加工を施しました。



柔らかな肌触り。



水分をはじくのでさっと拭けます。

日本褥瘡学会
発表
事例より

床ずれの発生もなく、
夜間もぐっすり。
QOLの向上に寄与できました。

静岡市立清水病院　皮膚・排泄ケア認定看護師／府川博俊さん

大腸がんの手術をしたターミナル期の患者Aさんが疼痛コントロールを目的に入院されました。92歳と高齢で、がんの影響もあり、るい痩著明でしたが、意識や感覚はしっかりしていました。入院初日は、従来の圧切替型エアマットレスを使用したのですが、Aさんは「寝ていると背中が痛い」と訴えられました。圧切替時にエアセルの膨張によって痛みのある部位を押されていることが原因と考えられました。また、「夜中にブーンとポンプが動く音がして眠れない」と不眠も訴えておられました。

そこで、翌日は圧切替型エアマットレスをやめて、静止型床ずれ防止マットレスを使用しました。ポンプが無いので静かになったのは良かったのですが、背部と仙骨部に発赤ができてしまいました。体位変換の回数を増やすことにより、発赤は消褪しましたが、Aさんは体位変換をするたびに、痛みを強く訴えられ不穏な状態でした。夜間も頻回な体位変換が必要となってしまい、この日もしっかそこで、3日目の朝に静止型床ずれ防止マットレスからアルファプラ ビオに変更することにしました。「今度は大丈夫だろうね？」とAさんから言われ、何とか穏やかに過ごしてほしいという想いで導入しました。すると、Aさんから「圧切替型エアマットレスの時にあった背中の痛みが無い」とコメントをいただきました。夜間も動作音がほとんどなくぐっすり眠れたと大変満足されていました（問診結果は表1）。Aさんの協力を得て、体圧を測定したところ、とても低く抑えられていました（表2）。

Aさんは、アルファプラ ビオを大変気に入られ、アルファプラ ビオ導入後は永眠されるまで、床ずれの発生は無く、夜間もぐっすりと眠られていました。体圧分散に優れるため、夜間の体位変換の間隔を4時間半まで伸ばせたことも、AさんのQOL向上に寄与できたと感じています。

表1　疼痛と睡眠時間の比較

	圧切替型エアマットレス	アルファプラ ビオ
疼痛（NRS）	6	1
睡眠（STAS-J）	4	2

※患者Aさんへの問診にて比較
患者Aさんからは夜良く眠れるようになったとの発言があり、
夜間のレスキューズの使用回数も3回から0回へ減少した。

表2　体圧の比較　(mmHg)

	圧切替型エアマットレス	アルファプラ ビオ
肩甲骨部	53	28
脊柱	52	30
仙骨部	48	32
踵部	48	45

※仰臥位で測定、セロ（※）で測定した最も高い値を比較

※セロは（株）ケープの登録商標です。